

「多文化共生啓発イベント」開催概要（案）

多文化共生啓発イベント概要

本県の外国人登録者数は、平成26年末で41,251人と、県内総人口の2.22%を占め、外国人住民の比率は全国第3位となっており、この20年でほぼ倍増するとともに長期定住化と集住化が見込まれています。このような状況のもと、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係のもとで、地域社会の構成員として安心して共に生きていけるような多文化共生社会を築くことが重要となっています。そのため、多様な主体が参画した啓発イベントを実施し、異文化理解を進め、外国人住民の人権尊重など多文化共生社会づくりに向けた地域社会の意識の醸成を図ります。

NPO、経済団体、市等からなる多文化共生啓発事業実行委員会を形成し、平成19年より鈴鹿市、四日市市、津市、松阪市、桑名市、伊賀市、亀山市、伊勢市と各地で開催しました。

今年度は「人権フェスティバル（いなべ市）」との同時開催にて行います。セミナー以外の内容としては、公演会、外国の音楽演奏、演舞、ブースでの活動紹介等を考えています。

今回も学生によるセミナーを一つ、企画段階から当日の進行までお任せする予定です。

開催日時： 12月6日（日）9時から17時（セミナー時間は未定）

開催場所： いなべ市大安公民館

セミナー概要

いなべ市大安公民館の一室を使用予定。

全体で4つ程度のセミナーを予定。

事例発表形式、講演形式、座談会、ワークショップなど形式は問いません。

定住外国人の問題に限らず、異文化理解や国際理解教育など、多文化共生の観点からのテーマにて実施します。

昨年度は各大学の海外研修体験談のプレゼン後、「医療健康」「食文化」「観光」「言語とジェスチャー」の4つのテーマについて、日本と外国との文化や価値観からの違いを考えるワークショップを、担って頂きました。

学生の皆さんの役割

4つのセミナーのうち、1つを学生の皆さんが中心となって企画立案していただきます。

- ・スペース：1部屋

- ・参加者：20名程度（いなべ市内の学生、定住外国人及び支援者の皆さんなど）
- ・テーマ：「異文化理解」、「国際交流」など。
- ・開催形式：多文化共生に関する実績を有する講師等の講演、多文化共生社会の実現に向けた課題や解決方法についてのグループ討議など。
- ・作業ボランティアとしての参加に留まらず、当日の進行や運営についても、学生の皆さんに主体的に関わっていただきたいと考えています。
- ・開催にあたって必要となる、講演料等の経費は予算の範囲内で事務局が負担します。

今後の予定

4つのテーマ全体での代表者からなる実行委員会を7月頃に開催し、以降は募集チラシを作成したり定期的に進捗状況の確認を行うための担当者レベルでの作業部会を数回予定しています。学生の皆さんには実行委員会と作業部会への出席をお願いします（代表者のみの参加も可）。

その他、学生間での打合せは、随時行って頂く予定です（要請があれば、事務局も同席します）。

【参考】

平成25年度 多文化共生啓発イベント（「ヒューマンフェスタ in 亀山」と同時開催）での、ワークショップの様子



県内大学生グループによるグループワーク